

回っている場合は上限額をもって政務活動費の額とする。また、上限額は1か月ごとに設けていることから、毎月単位で計算するものとし、通年の取り扱いはしない。

(委員長) 議事課長からの説明を踏まえて、皆さんの意見を伺う。

(委員) 様式1は、必ずしも必要がないという運用をするということか。

(議事課長) 様式1をもって実費を支出するということが原則にはなるが、それが難しい場合に関しては、様式1でなくても、例えば手帳といった形でも良いので、今日はどこに相談行ったか、後々に開示等を求められた場合に、きちんと説明責任を果たせるような形で記録をお願いしたい。

(委員) 様式2は年間通して請求する時に使うという意味か。どんなときに使うのか。

(議事課長) 様式1について提出が難しい場合に、様式2を使うという形になる。様式2は、年度を通して最後、記入例をご覧いただいたらと思うが、3月31日時点で「これだけ使った」というものを毎月集計して出していただくというふうな形になる。

(委員) 最終的に今日は持ち帰りという前提で、質疑を進めていってよろしいかと思うが、市外旅費の取り扱い。これは県内とか中四国近い部分だと思うが、例えば会派で「高松のアリーナを見学に行こう」といったような発想をした時に、この市外旅費の取り扱いをどういうふうに具体的に…

(委員長) それはまた、政務調査費か、もう一つの個人のあれでやる。

(委員) それはどっちか。

(議事課長) これあくまでガソリン代の取り扱いなので、市外旅費は基本的には今までと取り扱いは変わらない。満タン方式で使った分だけを実費で提出いただく。

(委員長) 1回、女性だけで研修に行ったことあるが、それは一応何キロとかって書いてそれでどれだけ使ったかって実費精算して、皆さんで割るような方式で、やったことがある。それは今治だった。そういうのはまた別で、市外旅費とは言っても例えば西条の人の相談に行くとか、そういう感じだと思う。他にないか。

(委員) 政務活動費ということで会派への支給になるが、この旅費の考え方としては会派として受けるが、個人のガソリンという取り扱いで構わないか。

(議事課長) 個人の方に割り振られるような形になる。

(委員長) 他にないか。

(委員) まず、この市内旅費の取り扱いを採用するかどうか話し合っただけで欲しい。

(委員長) 皆さん採用するような話で進めてきたと思うが、まずその話からということか。

(委員) 個人的にはちょっとうーんというような感じだ。皆さんが、これは積極的に進めた方がよいということであれば、もうそれは全然やぶさかではないと思うが。

(委員長) 協議が始まったきっかけが、政務活動費の執行率が悪いので、でも執行率が悪いのは、使い勝手が悪いということが前提にあった。それで、平成28年から言えば支出残額が約95万円で、平成29年からいっただろとこう、令和2年のコロナの時にも、もちろん全然使っていないし、それから以降もあんまり使われていない。この政務調査費を残すって言うことは、もう必要ないと言うことで、市長部局として減額を考えていかなければならないということになりかねない。そうした事を懸念して、使いやすい形にしたらどうかという提案を、この議会改革の中でさせていただいた。皆さんが請求しなければそれでも良いということにもなるので、絶対使わなければいけない

ということでもない。会派によって使い方もいろいろあるだろうし、皆さんも相談に行ったり、いろいろ使われていたりしていると思うので、ガソリン代の支出というのは、正当なものかなと思っている。また一つには、職員には公用車があるし、通勤手当もある。でも、市議員には通勤手当というのはないので、そういうことも踏まえてどうかかなと思っている。

(委員)細かい点だが、ちょっと発言させて欲しい。今日、欠席されている委員と私は、一点は同意見だ。政務活動費は本来なら使ってもいいのに、6割から7割の実態ってというのは、使いにくいからだ。実際政務活動として、我々が動いても、その動いた費用というのは全部見てもらえる仕組みになってない。というのがまず先なので、その結果として、6割から7割しか使われてないじゃないかという結果が出ている。やっぱり私たち市議会議員が、その活動にかかった費用を、全部政務活動費で見てくれとは言わないけども、使ってもいいんじゃないかなって、これは(政務活動に)当たるんじゃないかなっていうものですね、やっぱりカバーできてないという思いが少しあった。なので、交通費とか通信費ってというような話をした。今回は通信費のことではなくて、活動の費用ということで出ているが、そこで見ると今回、元々の話になるかもしれないですけど皆さん、これ、アイパッドのOneドライブの中に入っている政務活動費の手引きというのは、今回のことでご覧になったと思うが、ここに項目ごとに、政務活動費に当たる、当たらないみたいな判定が入っている。これ自体は委員長、いつ、どうやって制定したのか。

(休憩) 10時13分

(再開) 10時20分

(委員)支出伝票については、皆さん今23人。23人は全員、ゼロでも出す、1,800円でも出すっていうのは、された方が良くと思う。

(委員)いや、ゼロで出すっていうのは、それは自転車で行きましたっていうことかもしれないけど、ちょっとそれも逆にゼロの人のほうが気になる。

(委員)そこを議論して欲しい。

(委員長)そもそも、皆さんが、使いやすいようにということで始めた議論だが、これをやるかどうかを、改めて皆さんにお諮りしたい。

(委員)会派の中でもいろいろ意見がある。私の個人的な意見としては、今まで自分なりに個人研修に行くなどして、政務活動費の執行率は多分上の方だと思っている。差し当たりこれを議論する時に、先ほど他の委員が言われたように、市民がどういう受け取り方をするのか？という、まずそこに頭が行く。他の人の事情は知らないが、自分の場合は、今まで差し当たってガソリン代で窮乏したことはない。しかし、次の議員さんが通ってきたときに「大学生の息子が2人います」とか言うのであれば、少額でもこういうのが必要かなと思う。そういう意味で次の人のためを思うんだったら、してあげたらいいと思うし、逆に自分の立場だったら「今更」みたいな感じだ。15年も議員をやってきて、こんな請求をして市民からどう思われるのか？というような思いもある。正直、心の中で二つに分かれている。ここで前向きにいろんな議論をすることは良いことだと思う。

(委員) 私の本音で言うと、1,800円は別に必要ないという気持ちだ。

(委員) 政務活動費として請求するのは構わないと思う。さっき他の委員が言われたように、やるのであれば全員が請求というか、その類の書類は提出しなければならない。

(委員長) 皆さんが執行しやすくする。政務活動費を使ってもらうために、そういう提案をした。

(委員) 反対ではない。政務活動費を使いやすいように、とすることで提案されていると理解している。

(委員長) なお、先ほど問われた政務活動費の手引きについては、平成27年の2月23日の全協で協議をし、平成27年2月から適用されているようだ。皆さんのご意見として、政務活動費にガソリンを入れるっていうことを皆で提案するということが良いか？

(委員) ここで決めて提案する。代表者会に持っていき、それで通るか通らないかはまた別個の話という理解で良いか。

(委員長) 通るか通らないかは別個の話になる。

(委員) 確認したい。平成27年に全協に諮っていますよということで、この政務活動費の手引きというのは、条例の中でどう出すかっていう内規なので、この中で今までは市内旅費の部分がなかったが、市内旅費の部分が入った活動費、市内活動費が入る。これは、条例改正でも何でもなし。だから、本会議で諮って、条例を、ここをこう変えましたじゃない。要するに、内規の話なので、議員全員協議会等で「この項目が増えました」を確認するという流れなのか。

(議事課長) はい。

(委員長) 皆さんの中で、「そういうふうになった」ということで良いという話だ。

(休憩) 10時26分

(再開) 10時32分

(委員長) 今日の結論としては、この制度は、皆さんでもう1回話し合って作るっていうことでよろしいか。細かい話はもう一度皆さんと会派の方で話していただき、次に再度、会派の意見としてまとめてくるということで、お願いしたい。

(休憩) 10時33分

(再開) 10時35分

(2) 行政視察

(委員長) 行政視察の日程は1月28日から30日までの2泊3日で、視察先及び調査項目は記載の通りです。この内容で実施してよろしいか。

[全員了承]

(委員長) 本日はこれにて閉会する。